

■ 講習の概要

講座名	【選択】作家の文章技法に学ぶ		講座No	1
講師	権田 和士（文学部国文学科教授）	時間数	6時間	
開講日	2019年8月7日（水）	講習時間	9:30～16:40（途中休憩70分を含む）	
<p>[講義内容]</p> <p>作家の文章を読み、その文章技術について学びます。俳人、エッセイスト、コピーライターの文章を材料に、作家たちが文章を書く際に注意している点について具体的に考えてみたいと思います。</p> <p>[到達目標]</p> <p>日々の文章を執筆する技術を向上させるために必要な推敲する際のポイントなどを学び、参加者個々人の文章技術が向上することが目標です。</p> <p>[備考]</p> <p>資料はプリントを配布します。</p>				

講座名	【選択】ことばから作品へ・作品からことばへ		講座No	2
講師	富岡 宏太（文学部国文学科講師）	時間数	6時間	
開講日	2019年8月8日（木）	講習時間	9:30～16:40（途中休憩70分を含む）	
<p>[講義内容]</p> <p>作品を読む際に、特に重要なことの一つとして、そこに書かれたことばとしっかり向き合うことが挙げられます。そこでまずは、ことばの一つ一つに注目しながら作品を読み解く方法を探ります。そのうえで、作品中に現れることばそのものについて深く考えたり、作品の内容とことばに関する問題とを絡めて考えたりします。</p> <p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の解釈を、ことばの一つ一つに注目して行えるようになる。 ・ 作品中のことばの問題に気づき、考えられるようになる。 <p>[備考]</p> <p>資料を配付します。</p>				

講座名	【選択】英米の文化と言語への誘いー絵・映画篇ー		講座No	3
講師	小林 徹 (文学部英米文化学科教授) 木下 耕介 (文学部英米文化学科准教授)	時間数	6 時間	
開講日	2019年 8 月 7 日 (水)	講習時間	9:30～16:40 (途中休憩70分を含む)	
<p>[講義内容]</p> <p>本講座では、絵と映画を通して、国家・地域としての英米あるいは英米人の様相を浮かび上がらせます。最初に採り上げるのは、英国ルネサンス時代に作成された一枚の版画です。そこに描かれているものが文字通り森羅万象であることを見出すときはまた、英国を含むヨーロッパにおける宗教的精神の有様を理解するときでもあります。さらに、20世紀初頭のアメリカに目を転じ、ハリウッド映画と社会の関係を探ります。なかでもアメリカの大国化の時期に発展したハリウッド映画が、自国の信奉する価値観・世界観を可視化・物語化する装置として機能した点に注目します。こうした講義を通じて、当該世界の魅力が増すと考えます。</p> <p>[到達目標]</p> <p>英語文化圏に属する英国、米国について、表面的な文化的事情にとどまらず、それを支えている構造や、文化を作り出す人間の精神的側面に関しても理解すること。</p> <p>[備考]</p> <p>講義内容および到達目標から、本講座は、英語科教員ならびに社会科教員、または美術科教員の方々には相応しいと思われます。</p>				

講座名	【選択】英米の文化と言語への誘い ー英語学・英語教育篇ー		講座No	4
講師	飯村 英樹 (文学部英米文化学科准教授) 小林 隆 (文学部英米文化学科講師)	時間数	6 時間	
開講日	2019年 8 月 8 日 (木)	講習時間	9:30～16:40 (途中休憩70分を含む)	
<p>[講義内容]</p> <p>この講座では、英語でのやりとりを英語学的視点と英語教育学的視点から考察します。前半は「会話分析」という手法を用いて、英語の会話の構造を分析します。後半は英語授業の形態としてよく用いられるペアワークに焦点をあて、理論的背景を踏まえながら実際の活動方法と留意点を解説します。</p> <p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話分析の基本的な概念を用いて、実際に英語の会話を分析できる。 ・効果的なペアワークの導入について理解を深める。 <p>[備考]</p> <p>テキストはプリントを配布します。</p>				

講座名	芸術の世界 - 芸術を観る -		講座No	5
講師	塩澤 寛樹 (文学部美学美術史学科教授) 三宅 秀和 (文学部美学美術史学科講師)	時間数	6 時間	
開講日	2019年 8 月 7 日 (水)	講習時間	9:30~16:40 (途中休憩70分を含む)	
<p>[講義内容]</p> <p>美学美術史学科の「美術史」の教員が、日本美術史の専門分野から、日本のさまざまな時代の美術作品を通して、芸術を観るポイントを講義します。彫刻と絵画を扱い、それぞれの代表的な作品を例に、表現の面白さを観ながら、歴史的意義についても理解を深めます。</p> <p>[到達目標]</p> <p>日本美術史の内容に触れることによって、美術鑑賞や歴史・文化を理解するうえでの参考とし、美術(図画工作)や世界史・日本史(社会)の教科での指導に活用できること。新しい研究などを通じた知見を得るとともに、美術鑑賞や歴史・文化理解をするうえでの参考とすること。</p> <p>[備考]</p> <p>作品の映写のため室内を暗くします。ペンライトなどをご持参ください。</p>				

講座名	芸術の世界 - 芸術を観る、考える -		講座No	6
講師	北野 雅弘 (文学部美学美術史学科教授) 大野 陽子 (文学部美学美術史学科准教授)	時間数	6 時間	
開講日	2019年 8 月 8 日 (木)	講習時間	9:30~16:40 (途中休憩70分を含む)	
<p>[講義内容]</p> <p>美学美術史学科の「美学」と「美術史」の教員が専門領域からヨーロッパにおける芸術と宗教の関係について語ります。前半では宗教的起源を持つとされる芸術ジャンルである古代ギリシアの悲劇をとりあげ、宗教からの芸術の誕生について考えます。後半ではキリスト教化以後の美術作品を例に、古代からの影響や制作当時の社会との関係、図像の決まりなどを見ていきます。</p> <p>[到達目標]</p> <p>ヨーロッパの芸術と宗教の関係に触れることによって、歴史・文化を理解するうえでの参考とし、美術(図画工作)や世界史・日本史(社会)の教科での指導に活用できること。</p> <p>[備考]</p> <p>部屋を暗くすることがありますので、ペンライトなどをご持参ください。</p>				

講座名	児童・生徒を知るために自分を知る ：臨床発達心理士による自己・他者理解の心理学		講座No	7
講師	宮内 洋（文学部国文学科教授）		時間数	6時間
開講日	2019年8月5日(月)	講習時間	9:30～16:40（途中休憩70分を含む）	
<p>[講義内容]</p> <p>他者を理解するためには、一方で自らの理解も必要となる。本講習では、他者理解の知見について考えるとともに、自分自身の《性格》を知るために「心理テスト」などを用いて、自己理解に重点を置きながら、児童・生徒たちの理解について考えていく。</p> <p>[到達目標]</p> <p>教員としての自らのものの見方や自己理解および他者理解の傾向の自覚化を目指す。</p> <p>[備考]</p> <p>講師は臨床発達心理士であり、かつ公認心理師であるので、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容になる。</p>				

講座名	男と女の社会学（教育と性差）		講座No	8
講師	佐々木 尚毅（文学部英米文化学科教授）		時間数	6時間
開講日	2019年8月6日(火)	講習時間	9:30～16:40（途中休憩70分を含む）	
<p>[講義内容]</p> <p>学校は様々な個性を持つ子どもたちの学びの場である。「男」「女」「様々な障害を持つ児童生徒」、様々な個性が一緒に育ちあう場でもある。一見平等に見える学校現場で、なぜ今ノーマライゼーション思想・インテグレーション・インクルーシブ教育の推進が求められているのか。もっとも身近な「性差別」を通して、平等な教育を受ける権利をいかに保障することが大切で理にかなったことであるのかを海外の具体的な取り組みを通して学ぶ。</p> <p>[到達目標]</p> <p>北欧の先進事例（とくに「競わせない教育」、「支えあう教育」等）を通してノーマライゼーション思想・インテグレーション・インクルーシブ教育を理解し、実際的対応ができるようになる。</p> <p>[備考]</p> <p>なし。</p>				